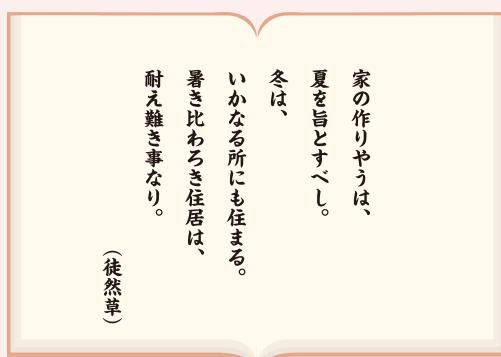


新築をご計画の皆さんに、
ぜひご検討していただきたいことがあります。



「住まいを健康・快適に、しかも省エネに。」
鳥取県のこの取組が、全国でも注目を集めています。

日本は、高温多湿の気候ゆえに
夏の暑苦しさをしのぐことを基準に
家が建てられてきた傾向があります。



夏は通気性がよいのですが、
そのぶん冬の家は寒い。

冬の寒さを我慢する家は、
健康にも地球環境にもよくありません。
なにより暮らしは快適ではありません。

たとえば…

コタツもストーブもエアコンも、
それでも家全体はなかなか暖まらない。



家事（炊事、洗濯、掃除）など、
動くことがおっくう。



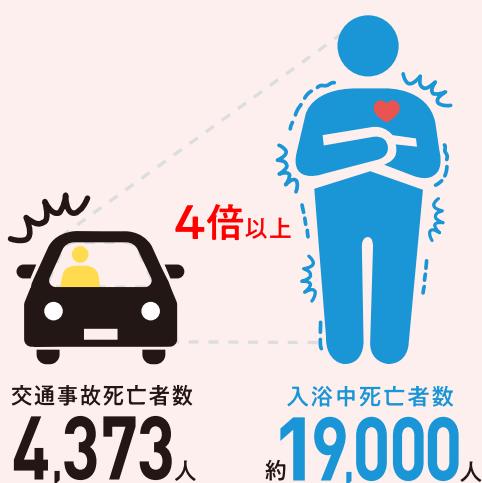
冬は暖房費がかさみ、
それだけCO₂も排出していたわけです。

居間の温度は暖かくとも、
そこから廊下などへ一歩出ると寒い！

それが、ヒートショックの原因です。

暖かい部屋から、
寒いトイレやお風呂場などに移動した際、
その急激な温度差により血圧が急上昇し、
心筋梗塞や脳卒中などの原因に。

毎年、入浴中に亡くなる方が、
交通事故死の4倍以上と言われています。



家中全体の温度差を少なくする
「温度のバリアフリー」が大切です。

健康・快適と省エネ、どちらの課題も同時に解決できる。

そのキーワードが、
家の**断熱**と**気密**です。

断熱と気密が高い家の
メリットが少しずつ知られはじめ、
それが重要と考えて家づくりをする方が増えています。

鳥取県では、この断熱と気密を軸とした
県独自の基準を設け、基準を満たす家を
『とっとり健康省エネ住宅NE-ST』と認定し、
助成を行っています。

NE-STは、「NEXT STANDARD」の
頭文字から名付けられました。



NE-ST
とっとり健康省エネ住宅

NE-STでは、断熱と気密の基準を3段階のレベルで設定しました。

基準の説明	国の省エネ基準 (平成 11 年策定)	ZEH 2030 年 義務化基準	とっとり健康省エネ住宅性能基準「NE-STな家」		
			T-G1	T-G2	T-G3
断熱性能 UA 値	2025 年 義務化基準 (平成 11 年策定)	2030 年 義務化基準	冷暖房費を抑え るために必要な 最低限のレベル	経済的で快適 に生活できる 推奨レベル	優れた快適性 を有する 最高レベル
気密性能 C 値	-	-	1.0	1.0	1.0
冷暖房費削減率	0%	約 10% 削減	約 30% 削減	約 50% 削減	約 70% 削減
世界の省エネ基準 (UA 値)との比較	寒	今の 日本	日本の省エネ基準は努力義務で すが欧米では義務化されている。 ●日本 (0.87)	今の 欧米	●米国 (0.43) ●ドイツ (0.40) ●英国 (0.42) ●フランス (0.36)

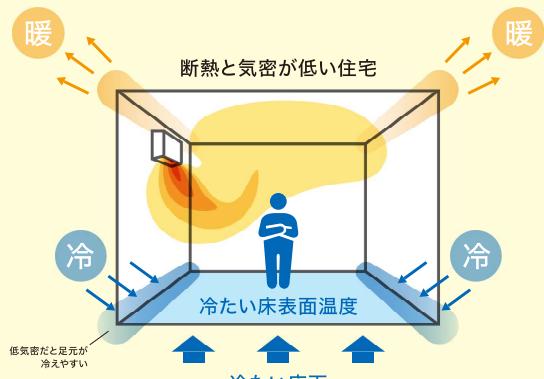
いずれも国の基準よりも高く、欧米と同等レベルに設定しています。

断熱性能のUA値とは、床や壁、天井、窓などから外部へ逃げる熱量を示す数値。

基準の説明	国の省エネ基準 (平成 11 年策定)	ZEH 2030 年 義務化基準	とっとり健康省エネ住宅性能基準「NE-STな家」		
			T-G1	T-G2	T-G3
断熱性能 UA 値	2025 年 義務化基準 (平成 11 年策定)	2030 年 義務化基準	冷暖房費を抑え るために必要な 最低限のレベル	経済的で快適 に生活できる 推奨レベル	優れた快適性 を有する 最高レベル
気密性能 C 値	-	-	1.0	1.0	1.0
冷暖房費削減率	0%	約 10% 削減	約 30% 削減	約 50% 削減	約 70% 削減
世界の省エネ基準 (UA 値)との比較	寒	今の 日本	日本の省エネ基準は努力義務で すが欧米では義務化されている。 ●日本 (0.87)	今の 欧米	●米国 (0.43) ●ドイツ (0.40) ●英国 (0.42) ●フランス (0.36)

値が小さいほど熱が逃げにくく、「断熱性」も「省エネ性」も高いことを表しています。

断熱と気密はセットで。



冬の家で、断熱が足りないと

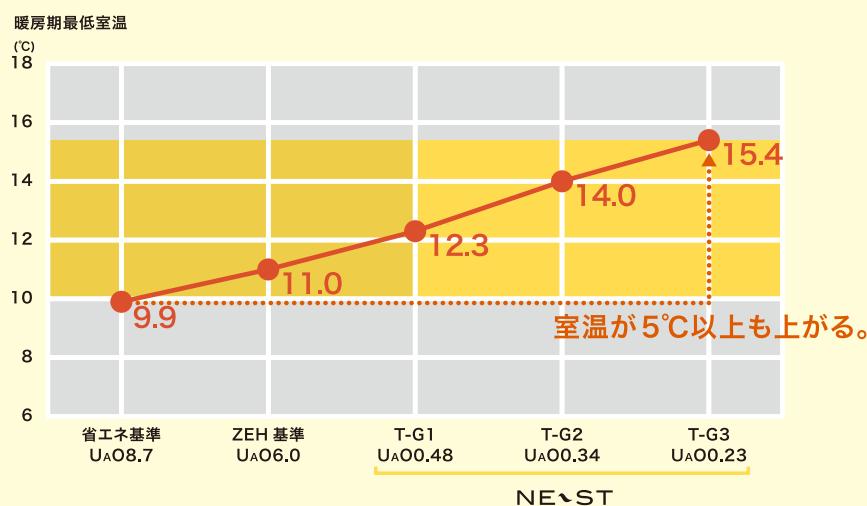
暖めた熱が冷たい屋根や壁に奪われ、

気密が足りないと

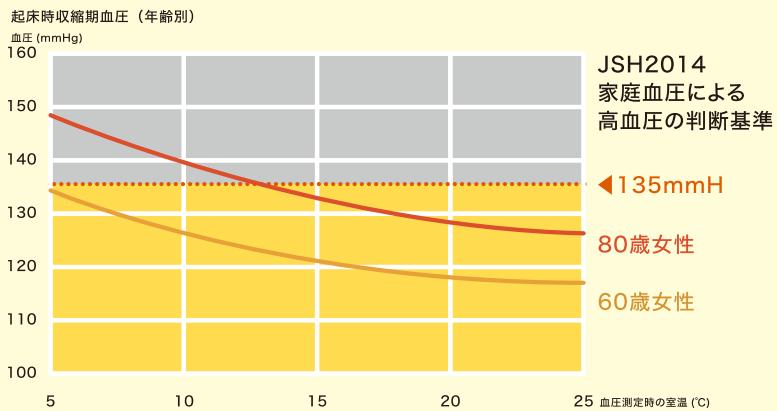
床の隙間から冷たい空気が侵入してきます。

気密が低い家は、とくに足元が冷えます。

NE-ST基準の家では、家全体の最低室温が上がります。

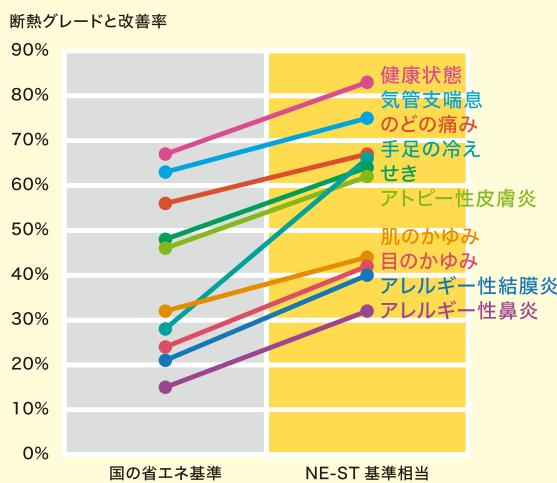


朝まで室温が暖かく保たれることで、起床時の血圧も下がります。



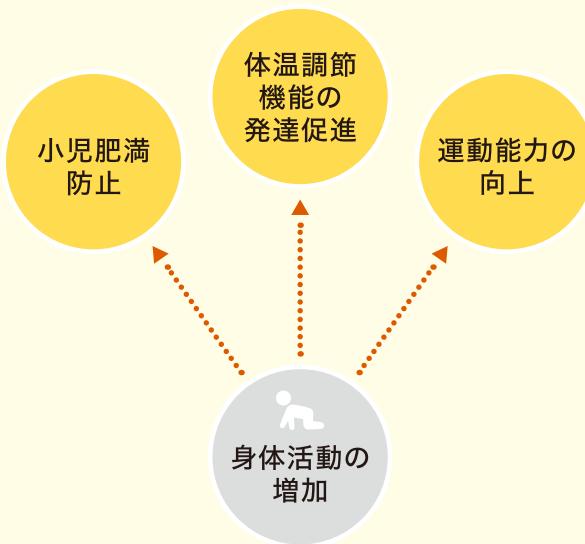
出典:Hyper tension (米国心臓協会が監修する国際医学誌)2019年10月号掲載 家庭血圧と冬季室温との関係の断面分析(慶應義塾大学伊香賀教授他)

暖かい家では、さまざまな健康改善効果がみられました。



出典:健康維持がもたらす間接的便益(NEB)を考慮した住宅断熱の投資評価日本建築学会環境系論文集,Vol.76, No.666, 2011.8(慶應義塾大学伊香賀教授他)

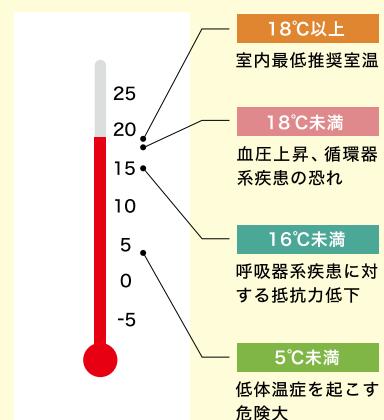
家中全体が暖かくなれば、子供の動きも活発に。



幼児期の運動が、生涯の健康につながります。

出典:文部科学省、幼児期運動指針、2012 文2落合、白澤ら、ライフスタイルと小児肥満、昭和医学会雑誌2010

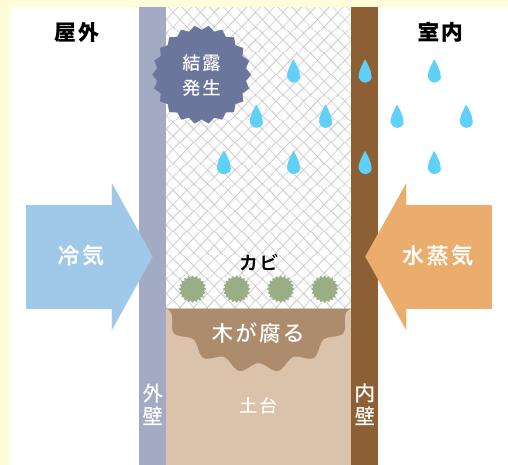
「冷えは万病のもと」。
WHOは、冬の室温を常に暖かく
保つことを強く勧告しています。



NE-STの家は、結露もしにくい。

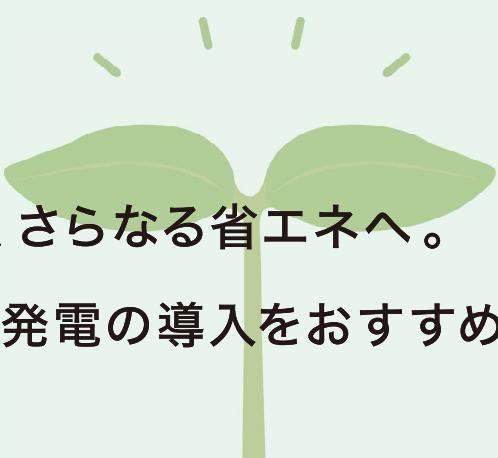
結露がなくなることで、カビやダニなどの発生が抑制され、アレルギー改善にも効果があります。

また、結露は壁や柱を腐食する恐れがあります。



断熱と気密の高い家は、
家の寿命も延ばします。

これまで家庭の省エネは、
どちらかというと暖房など機器の性能で行われてきました。
でもその省エネにも限界があります。
これからは「家そのものの省エネ性能」です。



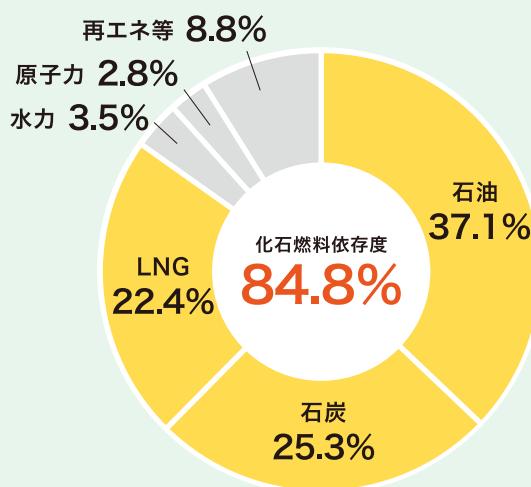
そして、さらなる省エネへ。
太陽光発電の導入をおすすめします。

日本のエネルギー自給率はわずか約12%。



出典:IEA「World Energy balances(2020 edition)

9割弱を、海外の化石燃料に依存しています。



出典:資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」の2019年度確報値

つまり、日本の電気料金は、燃料の輸入価格の影響をダイレクトにうけます。



出典:中国電力従量電灯A料金(350kWhの場合)

太陽光で発電すれば、
電気の購入量を減らすことができ、
家計への負担が少なくなります。

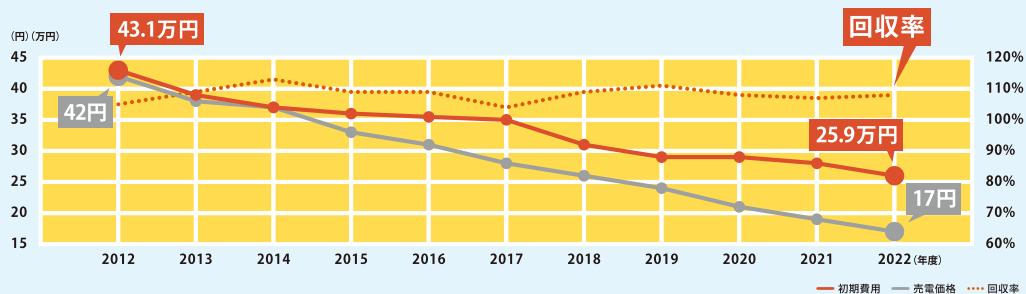
万が一、災害等で停電になった時も、
発電した電気が使えます。



「太陽光発電」にはFIT制度があります。

自宅で発電・使用し、余った電力を固定の価格で、一定の期間(10年間)、電力会社が買い取ってくれることを国が約束する制度です。

売電価格は年々下がってきてますが、
太陽光発電の導入費用も安くなっており、
回収率はほぼ変わりません。



「省エネ」と「創エネ」で、ゼロエネルギーハウス
つまりCO₂排出ゼロの実現へ。



「太陽光発電」を設置するまでのポイント。

- 発電効率のいい南向き面の屋根は十分な面積を。
- 太陽光発電設備の重さを見込んだ構造計画を。
- 落雪しても被害が生じないような配置計画を。



新築時には設置しない場合でも、将来的な設置に備えておきましょう。

費用的に「太陽光発電」の設置をあきらめている方へ。

太陽光発電の普及に向け
新しい仕組みが始まっています。

[太陽光発電を借りる**リース契約**]

事業者が太陽光発電を設置しますので
初期費用はかかりません。
リース料金を支払うことで、
発電した電気を使い、余った電気は売ることができます。

[屋根を貸すPPA契約]

電力会社等に自宅の屋根を貸し、

太陽光発電を無料で設置していただけます。

メンテナンス費用もかかりません。

契約期間(一般的に10年)が終了すると、

太陽光発電設備は無償で譲渡されるものもあります。

これらをご検討してみてはいかがでしょうか。

日本一、人も地球環境も、健康な鳥取県へ。

